

# 大森文化会館だより

2023年4月 No.19  
編集・発行 大森文化会館  
南宇和郡愛南町城辺甲2962-1  
TEL/FAX 0895-72-0837

※令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入場者数を制限しています。

## 令和4年度事業報告 愛南町人権ふーらむ 2022

12月17日(土)御荘文化センターにおいて、愛南町人権ふーらむを開催し、人権劇の上演とシンポジウムを実施しました。

人権劇は結婚差別を題材にした一人芝居「明日へ！」で、内容は、同和教育を熱心に学んできた人でも、自分の娘が同和地区の人と結婚することになると、ためらうというものです。劇中のセリフ「今まで差別を残してきたあなたの責任をどうお考えですか」、「大切な家族を最後まで差別する人のままで終わらせたくない」に感銘を受けました。

シンポジウムは解放未来塾の卒業生3名が登壇し、解放未来塾との関わりや部落差別、結婚差別について発表しました。来場者からは「パネリストの三人が、人に伝えようと自分のことを語っている姿を見て、私たちも考えさせられました」との感想がありました。



人権劇の宮内 則人さん



大野 亜里沙さん



中川 みどりさん



宮崎 純菜さん

## 人権・同和問題学習「つくし会」令和4年度活動報告

### 5月20日 新任教諭・新規採用職員研修会

対象者19名は、講師の平城小学校 飯田 豊一 校長から、おもに同和問題学習について講義を



受け、飯田校長のことば「相手に共感し、思いを寄せる言葉をかける感情「シンパシー」と、自分の経験や状況とは、かけ離れていようとも、他人をおもんぱかる能力「エンパシー」を、日頃から積み重ねること」を聴き、人権・同和問題への取組みを強く認識しました。

## 6月17日 ロールプレイ DVD鑑賞学習会



講師に荒谷 栄次さん（元役場職員）を迎え、「職場における差別発言」と題して、18名が聴講しました。参加者は荒谷さんから「人前で差別発言を指摘することは、とても勇気のいることです。差別発言に対しては、指摘をすると相手は責められたと感じるので、話し合いの形式にすると良いでしょう」との助言を受けました。

## 9月16日 南予地区人権・同和教育研究協議会の模擬発表会

南予地区人権・同和教育研究協議会（10月20日）発表者3名の報告に対し、参加者18名が想定される質問をしたり、助言をしたりしました。解放未来塾にかかわった教員の報告には、このような感想がありました。「私は解放未来塾の城辺中学生を見てきました。中学校を卒業する頃には、解放未来塾に入る前と比べて、見違えるように成長していました。解放未来塾での経験が、その後の大学での自信につながったのだと思います」



## 10月21日 小・中・高 人権・同和教育への取組み発表会



20名が参加し、うち報告者の3名（平城小学校、一本松中学校、南宇和高校）は、現在実施している同和教育や自尊感情の育成について発表しました。この取組みは、進学してきた学生が、進学する前の学校で、どのような人権・同和教育をしていたのかを把握し、自校の人権・同和教育に役立てることが目的です。南宇和高校では、就職差別に関する疑似場面を想定し、その役割を演じることで、実践力を身に付けさせる授業をしています。面接会場において、落ち着いた対応ができるように「自分ならどうする」と考えさせています。

## 11月18日 元気の出る講演会

講師に沢田 来夢さん（高知市役所職員）を迎え、「被差別部落に生まれて～24歳の私が出会った部落差別～」と題して、24名が聴講しました。沢田さんは結婚差別により、彼と別れたことを両親に報告した時、被差別部落出身の父親は沢田さんに泣きながら「部落の子どもに産んでごめん」と謝ったそうです。被差別部落出身ではない母親は「あんたは彼の話をちゃんと聞いてあげたか？今まで部落差別に対して勉強もしてきておらず、漠然と親に教えられたことしかない彼に、矢継ぎ早に自分の気持ちを押し付けたら、自分も相手もしんどいだけ。彼もあんたと親に挟まれて、しんどかったと思うよ」と言ったそうです。沢田さんは「子どもは親の言うことを信じます。その親が間違った認識で部落差別をしていた場合、子どもに對して、どこで修正するのでしょうか。それは、教育の場です」と訴えていました。



沢田 来夢さん

## 12月15日 大会報告会



南予地区・県・全国大会、邑久光明園の報告会に15名が参加しました。平城小学校の飯田校長は「寝た子を起こすな論をテーマにした報告を聞きました。教師は、寝た子を起こすな論を論破できる度量がなければいけません。大人の覚悟が必要です」と参加者に訴えかけていました。

## 1月20日 元気の出る講演会

講師に梅崎 五十鈴さん（伊予市扶桑会館長）を迎える、「解消へ 私たちの確かな一歩を～扶桑会館人権教育講座の取組～」と題して、23名が聴講しました。梅崎さんは「参加者提案型講座は開催することが目的ではなく、差別する人は自分自身のことなのだと、気付かせるための手段です」と言っていました。また、参加者には「差別意識を持って生れてくる子どもはいません。色をつけるのは大人です。大人の立ち上がりが大事になります」と伝えていました。



梅崎 五十鈴さんとのビデオ通話

## つくし会 令和5年度受講生募集

つくし会の受講生を募集しています。毎月第3金曜日に、一般の方を対象としています。経験豊富な講師による講演会を用意しています。令和5年度は下記の日程で開催を予定しています。

月	日	曜日	学習内容	場所
4	28	金	新任教諭・新規採用職員研修会 講師 飯田 豊一 氏	大森文化会館
5	19	金	元気の出る講演会 講師 登口 加代 氏	大森文化会館
6	16	金	四国大会、県大会模擬発表会	大森文化会館
7	21	金	軽スポーツ交流会（ソフトバレー大会）	城辺中体育館
8	18	金	元気の出る講演会 講師 矢野 大和 氏	本庁大会議室
9	15	金	小・中・高 人権・同和教育への取組み発表会	大森文化会館
10	20	金	大会報告会（四国）／いもたき交流会	大森文化会館
11	17	金	元気の出る講演会 講師 沢田 来夢 氏	本庁大会議室
12			休み	
1	19	金	大会報告会（南予／県／全国／大島青松園）	大森文化会館

## 生花教室 令和5年度受講生募集

生花教室の受講生を募集しています。毎月第2木曜日に開催しています。連絡先は大森文化会館です。



◀  
12月の作品

# こども会「解放未来塾」令和4年度活動報告

## 3月24日 けじめ式

※令和3年度事業ですが、前年度の会館だよりに掲載できなかつたため、今年度に掲載します。

2名の塾生は修了証書を受け取った後、今年度の思い出や、これからに向かって思うことを、演台にてスピーチをしました。次に参加者全員から塾生に対して励ましのメッセージを送りました。



## 12月16日 愛南町人権ふおーらむ「シンポジウム」打合せ会



15名が参加しました。シンポジウムに登壇する塾生は「現在、交際している人との経緯を本番で話したいです。わざわざ会場に来てくれた人には、正直に伝えたいです」と覚悟を決めていました。

◀コーディネーターの西山 博さんとパネリストの塾生たち

## 2月11日 ころん人権劇鑑賞会

今治市の人権団体「ころん」の人権劇鑑賞会に、愛南町から6名が参加しました。劇のテーマは「水平社創立の意義を現代に生かす」というものでした。今年は人間の尊厳をもって部落差別解消を目指した全国水平社が創立されて100年です。私たちが生きやすい社会を作るための次の一步について考えました。40分の劇の後、出演者と会場とのトークが60分ありました。会場から15人ほど発言があり、その中の1人から「答えがはっきり出ないという現実はありますが、被差別部落出身者としては、劇を見て、みんなで考える場を設けてくれたことに感謝します」との感想がありました。

## 解放未来塾 令和5年度塾生募集

解放未来塾の塾生を募集しています。小学5年生から高校生を対象としています。人権に興味がある子どもたちが、気軽に話し合うことができる空間を用意しています。令和5年度は下記の日程で開催を予定しています。

月	日	曜日	学習内容	場所
7	27	木	全国高校生集会事前学習会 講師 木元 健氏	大森文化会館
8	19 20	土 日	全国高校生集会（新規塾生募集事業）※前泊予定	滋賀県
12	8	金	人権ふおーらむ「シンポジウム」の打合せ会	大森文化会館
12	9	土	人権ふおーらむ「シンポジウム」への参加	御荘文化センター
12	30	土	クリスマス会	大森文化会館
2	10	土	ころん人権劇鑑賞会（新規塾生募集事業）	今治市